

# 京都市交響楽団

2013 9/6 金  
 午後7時開演  
 (午後6時開場)  
**京都コンサートホール**  
 京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分

## 第572回定期演奏会

The 572nd Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra  
 Friday, September 6, 2013 / 7:00PM Kyoto Concert Hall

開演前(午後6時40分ごろから)は「プレトーク」でお楽しみください。

「プレトーク」はホール・ステージ上にて開催します。



### ドイツが誇る円熟の名匠ポンマーのベートーヴェン「英雄」 &天性の至芸を聴かせるピアノ界の若き大器、小菅優!

メンデルスゾーン:序曲「フィンガルの洞窟」op.26  
 ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第1番ハ長調op.15  
 ベートーヴェン:交響曲第3番変ホ長調「英雄」op.55

Mendelssohn: "The Fingal's cave" overture op.26  
 Beethoven: Concerto for piano and orchestra No.1 in C major op.15  
 Beethoven: Symphony No.3 in E-flat major "Sinfonia Eroica" op.55

指揮: マックス・ポンマー

Conductor: Max POMMER

©Kosaku Nakagawa/Nagoya Philharmonic

入場料 **S** ¥4,500 **A** ¥4,000 **B** ¥3,500 **P** ¥2,000 (舞台後方席)

- ◆当日残席がある場合のみ発売: 学生券&後半券 S¥2,000 A¥1,500 B¥1,000  
 ※学生券は開演1時間前から(学生証をご提示ください)、後半券は開演後から休憩終了(後半開始)まで発売(学生券は、席種は選べますが、座席指定はできません)。
- ◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約)をご利用ください。  
 (お子様お1人につき1,000円/8月30日までに京響075-711-3110へお申し込みください)
- ◆10枚以上のチケットお申し込みには団体割引(10%OFF)があります。  
 京響(075-711-3110)までお問い合わせください。
- ◎お問い合わせ: 京都コンサートホール(075)711-3231・京都市交響楽団(075)711-3110
- ◎ホームページ: <http://www.kyoto-ongeiun.jp/kyotoconcerthall/> (京都コンサートホール)  
<http://www.kyoto-symphony.jp/> (京都市交響楽団)
- ◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします。
- ◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。
- ◎プレイガイド(電話予約)
  - ・京都コンサートホール(075)711-3231  
 (ホームページからオンラインチケット購入もできます)
  - ・チケットぴあ(0570)02-9999 Pコード186-443
  - ・ローソンチケット(0570)000-407 Lコード59798

ピアノ: 小菅 優

Piano: Yu KOSUGE

©Marco Borggreve

主催: 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団 京都市

協賛: **ローム株式会社**

協力: 株式会社ドルチェ楽器

後援: (株)エフエム京都

発行: 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた  
 音楽との出会いをお届けします。



# 京都市交響楽団 第572回定期演奏会

The 572nd Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra

1936年ライプツィヒ生まれ、ドイツの伝統を引き継ぐ円熟の名匠マックス・ボンマーが、ベートーヴェンの「英雄(エロイカ)」交響曲で、燦銀のようなドイツ音楽の本質をお届けします。高度なテクニックと深い作品解釈により世界で脚光を浴びるピアノ界の若き大器、小菅優が爽快で華やかなピアノリズムを聴かせる協奏曲もお聴き逃しなく!



指揮 マックス・ボンマー Conductor: Max POMMER

1936年ライプツィヒ生まれ。ライプツィヒ音楽院で指揮とピアノを、ライプツィヒ大学で音楽学を学ぶ。その後、カラヤンに学んだ時期を経て1968年博士号を修得。1974年ライプツィヒ大学合唱団を指揮し、翌年には音楽監督に就任。1978年にはバロック音楽、特に大バッハのカンタータと声楽曲を演奏することを目的に、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団のメンバーとともに「ライプツィヒ新バッハ合奏団」を設立。ブランデンブルク協奏曲集の録音で受賞したドイツ・シャルプラッテン賞をはじめ、国際的な数々の賞を受賞し、この楽団とともに指揮者としての国際的な認知度、特に東西ドイツ統一前のヨーロッパやアメリカに名前が知れ渡った。1987-91年ライプツィヒ放送響(MDR)の首席指揮者を、1990-2003年ザールラント音楽大学指揮科の教授を歴任。客演指揮者としてもドイツを中心に、セントポール室内管、ザンクト・ガレン交響楽団、ホルダー・アキテーヌ国立管、バーデンバーデン・フライブルク南西ドイツ放送交響楽団など、多くの楽団で行なっている。1991年ザルツブルク・フェスティバルでザルツブルク・モーツァルテウム管弦楽団を初めて指揮して以来関係が深まり、スペインや北米のツアーを成功させている。1991年からはハンブルク・カメラータと密接な関係を持つようになり、2001年に音楽監督に就任。ムジークハレでの定期演奏会のほか、シュレスヴィヒ・ホルシュタイン、メクレンブルク・フォアポンメルン、MDR夏などの高名な音楽祭にも出演。2000年からは、オランダ・シンフォニア(旧称:北オランダ・フィル)の初代定期客演指揮者となった。2004年には同団と、ウィレム・メンゲルベルク以来伝統の「聖金曜日コンサート」としてバッハ「マタイ受難曲」をコンサート・ヘボウにて演奏。レコーディングは幅広くバラエティに富んでいる。バッハ、ヘンデル、ドビュッシーの管弦楽作品をドイツのカプリッチョに、モーツァルトの交響曲と初期のオペラをベルリン・クラシックスに、ラウタヴァーラとヴァイルの作品をフィンランドのオンディーヌに録音しているほか、シェーンベルクやアイスラー、デッサウなどドイツの現代作曲家の作品をエテルナに録音している。



ピアノ 小菅優 Piano: Yu KOSUGE

高度なテクニックと美しい音色、若々しい感性と深い楽曲理解で最も注目を浴びている若手ピアニストの一人。2000年にドイツ最大の音楽評論誌「フォノ・フォルム」より、ショパンの練習曲全曲録音に5つ星が与えられた。9歳より演奏活動を開始し、その足跡はヨーロッパ、米国、日本など年に40カ所以上に及ぶ。05年ニューヨークのカーネギー・ホールで、翌06年には、ザルツブルク音楽祭でそれぞれリサイタル・デビューを行い、大成功を収めた。これまでにドミトリエフ、デュトフ、小澤、大植、ノリントン、オラモ等の指揮でベルリン響、フランクフルト放送響、シュトゥットガルト放送響、ハノーファー北ドイツ放送フィル、サンクトペテルブルク響、フィンランド放送響等と共演。ザルツブルクをはじめライオンガウ、シュレスヴィヒ=ホルシュタイン等の国際音楽祭にも出演し着実に活躍の場を広げている。2010年ザルツブルク音楽祭で、イーヴォ・ポゴレリッチの代役としてフィリップ・ヘルヴェッヘ指揮カメラータ・ザルツブルクと共演し、絶賛を博した。2012年4~5月、紀尾井シムフォニエッタ(指揮:ティエリー・フィッシャー)のアメリカ・ツアーに参加、10~11月にはハンスイェルク・シェレンベルガー指揮カメラータ・ザルツブルクの日本ツアーに参加、モーツァルトのピアノ協奏曲第20番から第27番までの全8曲を共演し、高い評価を得た。2013年2月、服部謙二指揮ウィーン室内管弦楽団とモーツァルトのピアノ協奏曲第9番変ホ長調K.271「ジュノム」を共演、ウィーン・デビューを果たした。また、東京、大阪でベートーヴェンのピアノ・ソナタ全曲演奏会(全8回)を行っている。録音は、最新盤の「ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ集第2巻「愛」」、「モーツァルト:ピアノ協奏曲第20番&第22番」、小澤征爾指揮/水戸室内管との「メンデルスゾーン:ピアノ協奏曲第1番他」を含む12枚のCDをソニーより、また「リヒャルト・シュトラウス&フランツ・シュトラウス ホルン&ピアノ作品集」(オクタヴィア・レコード)、「モーツァルト:ピアノと管弦楽のためのロンド 他」(ワーナーミュージック・ジャパン)をリリースしている。第13回新日鉄音楽賞、04年アメリカ・ワシントン賞、第8回ホテルオーケラ音楽賞、第17回出光音楽賞を受賞。

©Marco Borggreve



## 京都市交響楽団 Kyoto Symphony Orchestra

日本唯一の自治体直営オーケストラとして1956年創立。最近では、楽器講習会や音楽鑑賞教室、福祉施設への訪問演奏などにも積極的に取り組み、07年「第25回京都府文化賞特別功労賞」、「京都創造者大賞2007」受賞。08年4月からは、第12代常任指揮者に広上淳一、桂冠指揮者に大友直人が就任し、09年は「スプリング・コンサート」や「オーケストラ・ディスカバリー」など新企画で注目を集めた。10年11月広上淳一指揮による定期演奏会のライブ録音CD第1弾、12年2月ライブ録音CD第2弾を発売し、13年9月にはライブ録音CD第3弾を発売予定。半世紀という節目を経て、「京響」は今、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」を目指して更なる前進をはかっている。

次回  
予告

2013年 7/19(金)から発売!



©Stefano Bottesi

## 第573回定期演奏会

ワーグナー  
生誕200年

壮絶な愛と死のドラマを描くアクセルロッドのワーグナー!  
&世界の小澤も認めるヴァイオリンの才媛アレクサンドラ・スム

日時: 2013年10月20日(日) 午後2時30分開演

会場: 京都コンサートホール

指揮: ジョン・アクセルロッド

独奏: アレクサンドラ・スム(ヴァイオリン)

曲目: ベートーヴェン:ヴァイオリン協奏曲二長調op.61  
ワーグナー:楽劇「ワルキューレ」第3幕から  
「ワルキューレの騎行」  
ワーグナー:楽劇「トリスタンとイゾルデ」から  
「前奏曲と愛の死」ほか

入 場 料



©Dan Carabas

次回  
予告

2013年 8/11(日)から発売!



©K.Miura

## 第574回定期演奏会

詩情豊かなドイツ・ロマン派の極み、広上淳一のシューマンVS  
イタリアの名チェリスト、エンリコ・ディンドのショスタコーヴィチ!

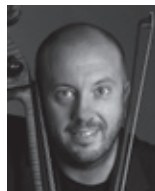
日時: 2013年11月30日(日) 午後2時30分開演

会場: 京都コンサートホール

指揮: 広上 淳一(常任指揮者)

独奏: エンリコ・ディンド(チェロ)

曲目: ショスタコーヴィチ:祝典序曲op.96  
ショスタコーヴィチ:チェロ協奏曲第2番op.126  
シューマン:交響曲第2番ハ長調op.61



©Fulvia Farassino

入 場 料

S ¥4,500 A ¥4,000 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)

S ¥4,500 A ¥4,000 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)